

Free R rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

取扱説明書 / 施工要領書

埋め込み式支柱

BJ-03ST/BJ-79DB BJ-41ST/BJ-89DB BJ-157ST/BJ-158DB
BJ-54ST/BJ-94DB BJ-42ST/BJ-90DB BJ-159ST/BJ-160DB
BJ-27ST/BJ-85DB BJ-77ST/BJ-103DB

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。





【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。

マークの種類について

-  警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
-  注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
-  禁止行為
-  必ず行う

 マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>

2021年10月1日制定【01】

⊘ 強い衝撃を与えない。

本製品に物をぶつかけたり、強い衝撃を与えない。手すりが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊘ 破損があるものは使わない。

手すり部分にささくれ、大きなへコミ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止める。手にケガをする恐れがある。



⊘ 製品に乗ったり、ぶら下がらない。

本製品に乗ったりぶら下がらない。手すり棒がたわんだり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊘ 火を近づけない。

本製品にタバコなどの火を近づけない。変形、変色の原因になる。



⚠ 警告

⊘ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押ししたり、引いたりしない。手すり棒が曲がったり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊘ 支柱のカット以外で製品を分解・改造しない。

固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造したりしない。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合がある。



ⓘ 本製品にささくれ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止めて、施工店またはマツ六まで相談する。



お手入れ方法

ふだんはやわらかい布で拭く。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをする。仕上げに乾拭きをして、水分を完全に取り除く。汚れが目立たないうちから、こまめなお手入れを行うこと。

⚠ 注意

⊘ 酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。

酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になるので使用しない。



⊘ クレンザー、磨き粉は使用しない。

クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しない。

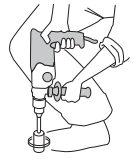


警告

- ❗ ブラケット(支柱)ピッチは手すり棒に同梱されている取扱説明書/施工要領書のプランニングを確認し、必ず守る。

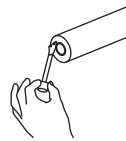
- ⊘ コア抜きは両手だけで行わない。

コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当て、両手だけでは行わない。コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがある。

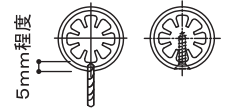


- ❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

腐食や変色の原因になる。



- ❗ 直棒手すりを使用する場合は手すり芯材のリブとの干渉を防ぐ為、下穴の切削は深さ5mm程度で止め、手すり棒固定用のねじを打つと施工がしやすい。



- ❗ 手すり棒を仮止めする際は、必ず2本(個)以上の支柱(ブラケット)へ手すり棒をのせて作業を行なう。

ねじや支柱(ブラケット)が破損する原因になる。

- ⊘ 直棒手すりは曲がらない。

曲げる際は「手すり棒」を使用する。

〈手すり棒断面〉 〈直棒手すり断面〉



- ⊘ 手すりをブラケット(支柱)に取付けた状態で手すりを曲げない。

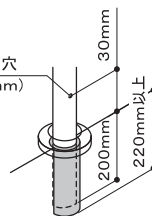
ブラケット(支柱)が破損する原因になる。



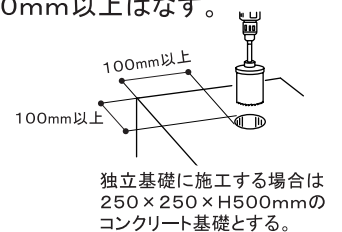
注意

- ❗ 埋め込み式支柱には必ず水抜き用の穴があいている状態にする。

支柱に設けられている水抜き用の穴は必ず床上来るようにする。もし施工上、支柱の切断等で水抜き穴がなくなった場合は、新たに水抜き穴をあける。支柱内の破損の原因になる。



- ❗ ヘリあき寸法は100mm以上はなす。



- ❗ 施工時製品に付着した切り粉やモルタルは速やかに清掃する。

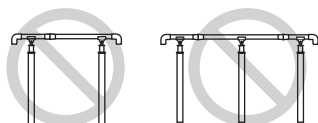
表面にキズがつき腐食の原因になる。モルタルに急結剤を混ぜない。塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し支柱を腐食させる恐れがある。



- ⊘ 支柱及び、ブラケットはコンクリート下地以外に取付けない。

- ⊘ ジョイントは最小限の数で取付ける。

手すり棒ジョイントは、手すり棒の定寸寸法(2m材、3m材)及び直棒手すりの定寸寸法(2m材、4m材)を考慮し、最小限の数量とする。また、手すり全長が定寸寸法内の場合はジョイントをしない。



- ⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締付けない。

六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め過ぎると支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。



使用する支柱の付属品を確認する。

標準



皿ドリルねじ
(4 × 19mm)



六角棒スパナ
(呼び5mm・3mm)

※BJ-41ST/BJ-89DBには六角棒スパナ
呼び3mmは付属していない。

エンド



皿ドリルねじ
(4 × 19mm)



防水パッキン



六角棒スパナ
(呼び5mm・3mm)

※BJ-42ST/BJ-90DBには六角棒スパナ
呼び3mmは付属していない。

コーナー



皿ドリルねじ
(4 × 19mm)



防水パッキン



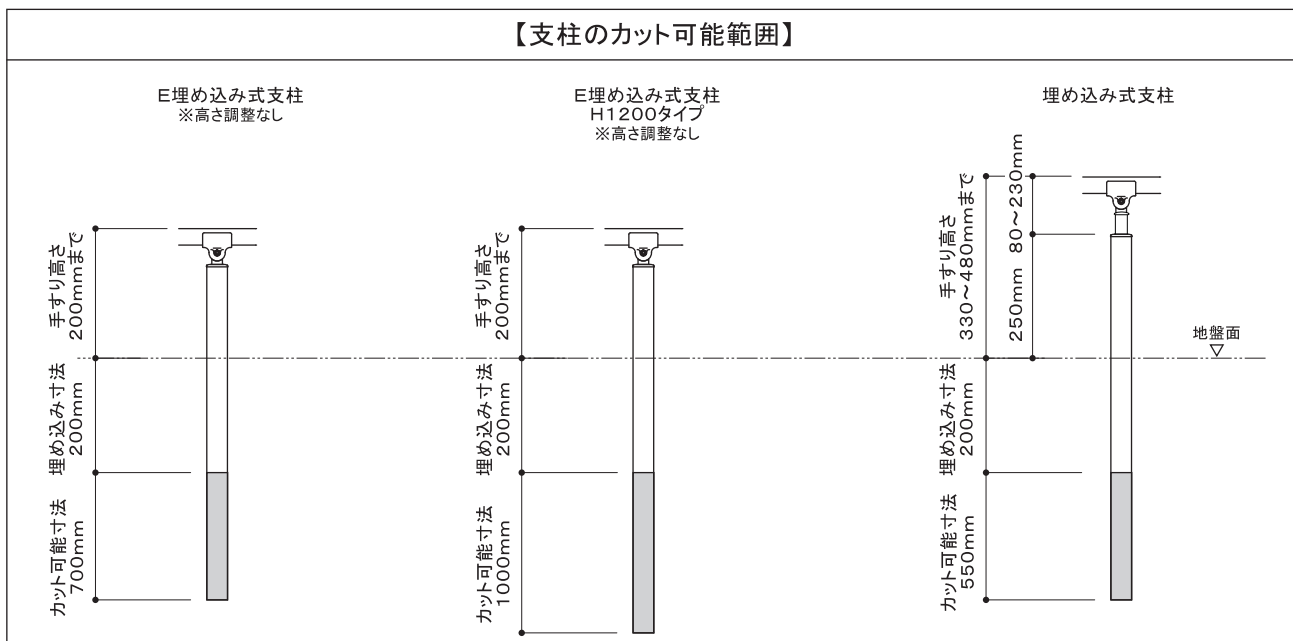
キャップ



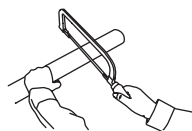
六角棒スパナ
(呼び5mm・3mm)

※BJ-77ST/BJ-103DBには六角棒スパナ
呼び3mmは付属していない。

【支柱のカット可能範囲】

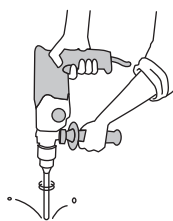


金ノコ等で希望の長さにカットする。



施工手順 支柱の埋め込み方法

① 振動ドリルで下穴(φ6mm)をあける。

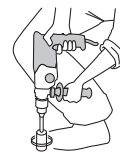


② コアドリル(φ60mm)で深さ220mm以上の穴をあける。

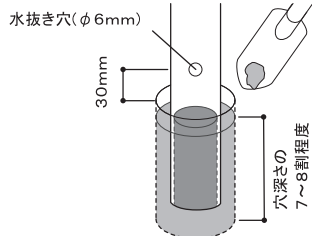
※φ60、深さ220mmが確保できない場合、複数本の支柱のうち1本はφ50mm程度、深さ120mm以上でも良い。



コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当て、両手だけでは行わない。コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがある。

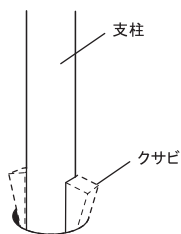


③ 穴深さの7~8割あたりまでコンクリートを流込み、支柱の内部にコンクリートが充填されるよう挿入する。支柱のカット等により水抜き穴がなくなった場合は、あらかじめ新たに床仕上げ面から30mm程度の高さに水抜き穴(φ6mm)をあけておく。



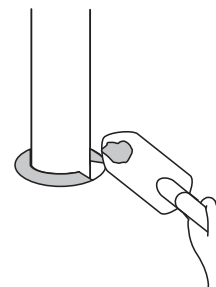
❗ 水抜き穴は必ずあける。

④ 支柱が垂直になるようにクサビで調整した後、穴にモルタルを流込む。



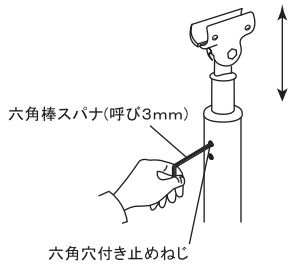
モルタルに急結材を混ぜない。また、塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し支柱を腐食させる恐れがある。

⑤ モルタルが仮硬化したらクサビを取り除いてクサビ跡をモルタルで補修する。



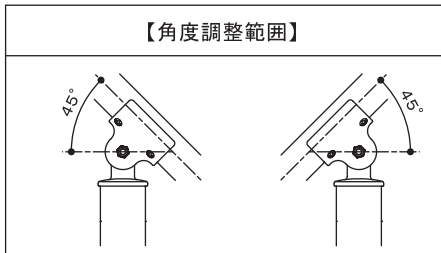
高さを決めて六角穴付き止めねじ(2か所)を固定する。

※E埋め込み式支柱には高さ調整機能はない。

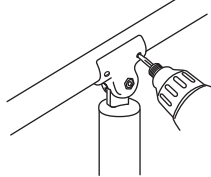
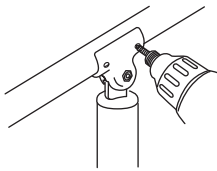


⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締付けない。
支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。

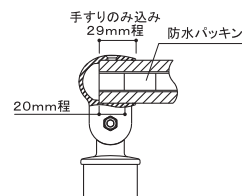
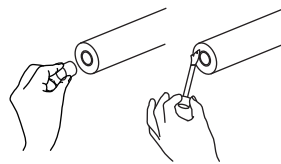
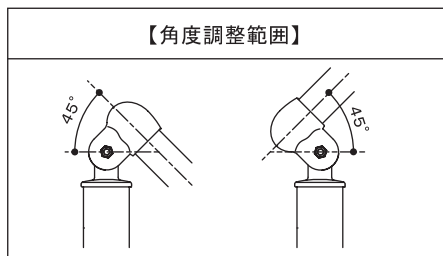
標準



- ① φ3.3mmの下穴をあける。 ② 皿ドリルねじ(4×19mm)で固定する。 ③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定する。

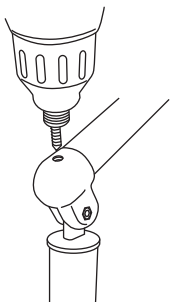


エンド

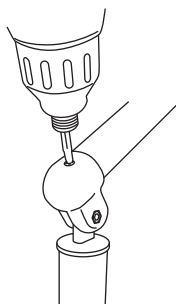


⚠ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

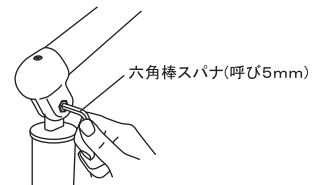
- ① φ3.3mmの下穴をあける。



- ② 皿ドリルねじ(4×19mm)で固定する。



- ③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定する。



コーナー

【角度調整範囲】

上下方向

水平方向

360° 回転

90°

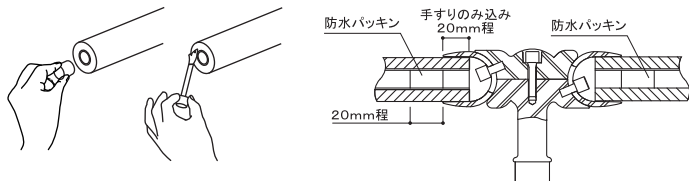
0°

上方向へは動かない

下方向へは動かない

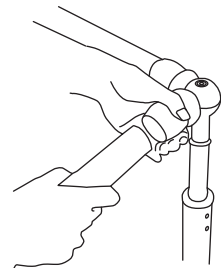
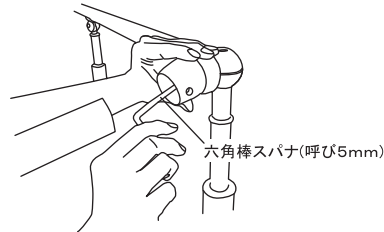
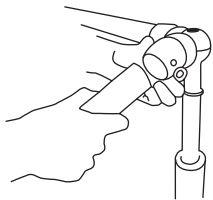
支柱本体を固定した後に角度調整の向きを変える場合は、高さ固定用の六角穴付き止めねじをゆるめ、支柱上部だけを回転させることができる。

両側の手すり棒を上向き(下向き)にすることはできない。

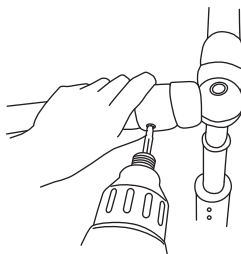
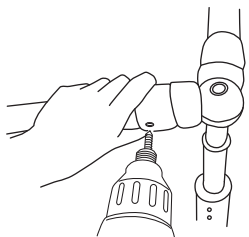


! 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

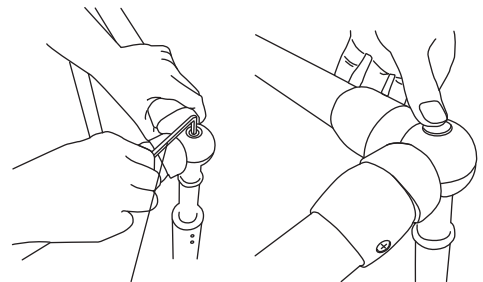
- ① 支柱(もしくは壁付ブラケット)を取付け後、手すり棒を仮置きし、コーナー支柱に手すり棒を挿入することで首振り角度を調整する。
- ② 手すり棒をスライドさせ取りはずし、六角穴付きボルトを本締めして首振り角度を固定する。
- ③ 手すり棒をコーナー支柱に挿入する。



- ④ φ3.3mmの下穴をあける。
- ⑤ 皿ドリルねじ(4×19mm)で固定する。



- ⑥ 六角穴付きボルトを本締めして、キャップをはめ込み完了。



ねじ止めの穴位置は180°回転可能。

Free R rail